

各都道府県介護保険担当課（室）

各市町村介護保険担当課（室）

各介護保険関係団体 御中

← 厚生労働省 老健局 振興課

## 介護保険最新情報

今回の内容

被災地における介護等のサポート拠点に係る取組（3）

計5枚（本紙を除く）

Vol.246

平成23年10月24日

厚生労働省老健局振興課

【東日本大震災の被災地における介護等のサポート拠点に係る取組みについて、情報提供いたします。

貴関係団体に速やかに送信いただきますようよろしくお願いいたします。

連絡先 TEL：03-5253-1111(内線 3985)

FAX：03-3503-7894

平成23年10月24日  
厚生労働省老健局振興課

被災地における介護等のサポート拠点に係る取組（3）  
～ 高齢者サポート拠点「あさかの杜ゆふね」（福島県郡山市） ～

厚生労働省では、東日本大震災の被災地の仮設住宅における高齢者等の安心した日常生活を支えるため、総合相談、居宅サービス、生活支援サービス、地域交流などの総合的な機能を有する「サポート拠点」の設置・運営を推進しており、実際の取組事例を順次ご紹介しています。

今回（第3回）は、福島県郡山市に開設された高齢者サポート拠点「あさかの杜ゆふね」をご紹介します。

・・・・・・・・・・・・・・・・ サポート拠点の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）基本情報

- 名称： 高齢者サポート拠点「あさかの杜ゆふね」  
開設場所： 郡山市南一丁目94地（ビッグパレットふくしま北側）  
開設日： 平成23年9月5日  
機能： 総合相談支援、介護保険サービス（居宅介護支援、訪問介護、デイサービス）、配食サービス、要援護者の見守り・安否確認、地域交流  
※ 同一敷地内に、国民健康保険診療所（内科、歯科）  
施設概要： 延床面積 317.99㎡  
（構成）事務室、静養室、休憩室、浴室（一般、介助用）、便所（男女別）、洗濯室、厨房  
人員体制： 相談員3名  
介護保険サービス部門8名（居宅介護支援2名、訪問介護1名、デイサービス5名）等  
運営主体： 川内村社会福祉協議会

（2）主な特色

（コンセプト）

- 福島県では、仮設住宅入居者の孤立を防止するとともに、介護サービスや生活支援等の必要なサービスを提供するため、「あさかの杜ゆふね」を開設。
- 設計にあたっては、利用する高齢者等がお互いにコミュニケーションをとれるよう配慮し、「やすらぎのある家」づくりを目指している。

（概要）

- 仮設住宅地の中心部に、総合相談、デイサービス、配食サービス、地域交流、等の機能を有する、総合的なサービス拠点として整備。  
同一敷地内に、国民健康保険診療所（内科、歯科）を整備。（10月3日開所）
- 川内村社会福祉協議会が、福島県の委託を受けて運営。

（運営状況）

- 総合相談支援
  - ・ 土日を含めて毎日開設（8時30分～17時30分）。
  - ・ 仮設住宅に居住する高齢者等に日常生活等に関する総合相談や、必要に応じ、日常の生活指導に依っている。
  - ・ 電化製品の使い方などの日常生活上の相談や、休日診療に関する情報などの地域情報に関する問い合わせが多く寄せられる。
- 配食サービス
  - ・ 65歳以上の独居世帯、70歳以上の高齢者のみ世帯及び要介護認定者本人を対象に実施（利用者数：70世帯100名程度）
  - ・ 週1回（昼食：利用者負担1食あたり200円）実施し、見守りを兼ねて相談員が各戸を訪問。
- 地域交流
  - ・ レクリエーション活用や茶話会などを定期的で開催。
  - ・ コミュニケーションの活性化や心のケアにつながるツールの1つとして、アザラシ型ロボットパロを2体導入。（民間企業からの無償貸与）
- 診療機能
  - ・ 同一敷地内に、川内村国民健康保険診療所（内科、歯科）を整備。
  - ・ 土日祝日を除き毎日開設（9時00分～17時00分（12時～13時を除く））
  - ・ 薬は院外処方だが、処方箋を受けた薬局が仮設住宅の各戸又は診療所に配達をしている。
- この仮設住宅地は、隣近所の顔が分かる関係にあることや、洗濯物や郵便物の状況が外から一目瞭然であり、異変があればすぐに発見できることから、これまでに深刻なケースは発生していない。

### （3）仮設住宅の状況

#### 郡山市南1丁目仮設住宅

戸数 316戸（川内村150戸／富岡町166戸）

入居者数 約600人（うち65歳以上高齢者数約半数程度／要介護者20名程度）

※ この他、周辺の借り上げ住宅等で生活する被災者も支援の対象としている。

「あさかの杜ゆふね」は、福島県内最大規模の316戸を有する仮設住宅地で生活する高齢者を支えるため、総合相談、介護サービス、配食サービス、見守り・安否確認等の機能を有する総合的拠点として整備されました。

運営は川内村社会福祉協議会が担い、サポート拠点の業務とともに、社会福祉協議会としての業務も実施しています。また、同一敷地内には、国民健康保険診療所（内科・歯科）も整備されています。

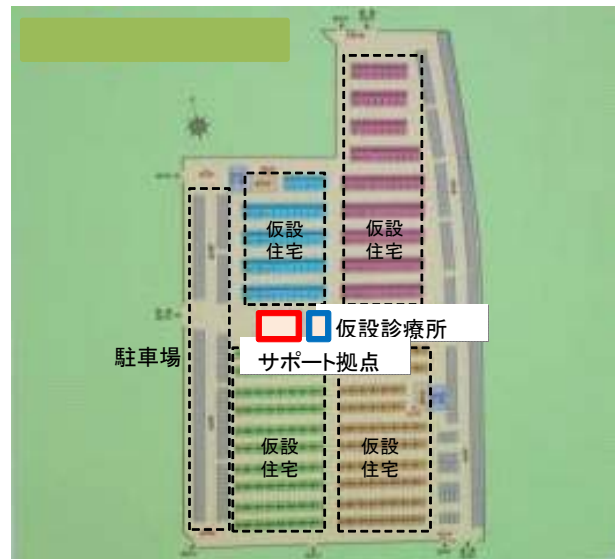
このように、同地区では医療、介護、福祉の各サービスが仮設住宅地の中で一体的に整備されており、大規模で高齢者の居住割合の高い仮設住宅地をサポートしていく上で、参考になる取組であると考えています。



あさかの杜ゆふね外観

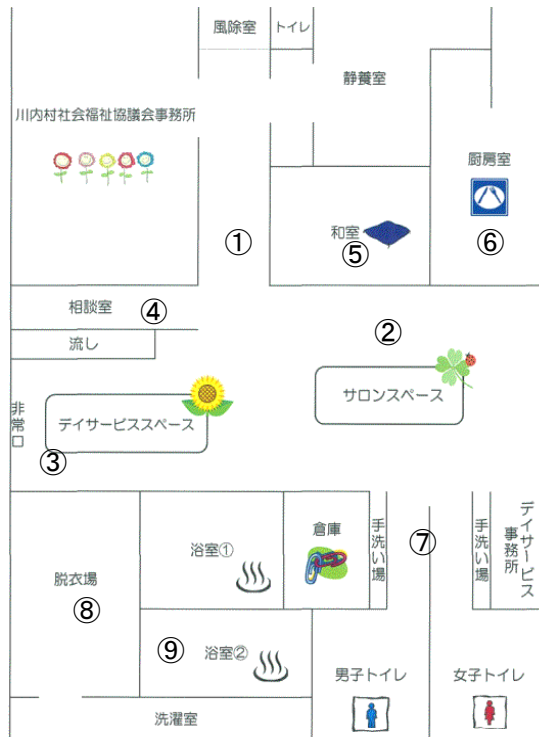


郡山市南一丁目仮設住宅遠景



郡山市南一丁目仮設住宅配置図

○あさかの杜ゆふね



サポート拠点間取図



①交流室正面



②交流室内 1



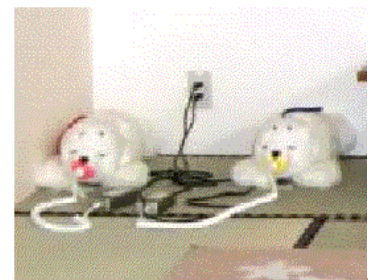
③交流室内 2



④相談室



⑤和室



アザラシ型ロボットパロ





⑥厨房



⑦便所



⑧脱衣所



⑨浴室

○川内村国民健康保険診療所



待合室



診療室内（内科）